

平成29年度 日本大学総合科学研究所個人研究費 研究実績報告書

所属： 総合科学研究所

資格： 准教授

氏名： 中村律子



研究課題		留学生の学習意欲と自己肯定感向上、教師モチベーションにコーチングのもたらす効果についての研究
報告の概要	研究目的及び研究概要	留学生の学習意欲と自己肯定感向上、現場の教師のモチベーション向上にコーチングの理論と手法がどのように役立つかに注目した。特に、スポーツメンタルコーチングの手法から、どのような状況にあってもピークパフォーマーとして力を発揮できる考え方とコーチング手法を日本語教育に応用するため、選手とコーチに関する文献サーベイを行った。自身もコーチング、協同に関するワークショップ等に参加し、その方法を現場に応用し、日本語教育に生かすコーチングのあり方、方法論を実践研究した。
	研究成果	昨年度に引き続き、文献サーベイと実践研究を行った。まず、学期最初の学生全員の面接方法を一部変更し、プログラムが終わるまでの自らのゴール、ゴールに対する現状分析、ゴールに向かって学期中にどのような学びをするべきかを自ら明確化させることを取り入れた。学期途中の学習相談の際も、現状の課題把握と分析、ゴールを再明確化する、そのためにはどうしたらいいかを自分で考える、という3つのステップでコーチングを行った結果、学生自身が自分の課題に気づき、自ら選択し、自らの責任で、自ら行動して行く自律的な学習者になっていくケースが見られるようになってきた。この方法は、特にプレイスメントテストで希望クラスに不合格になる等、うまくいかない状況に一旦陥った学生達に有効であった。今学期、飛躍的な伸びを見せた学生達がおり、その分析は来年度の課題とする。 また、教師モチベーション向上に関しては、非常勤講師との面談を1年に1度行い、自らの強み、将来チャレンジしたい科目、分野などを自由記述で述べられるなどし、キャリア支援の視点からもコーチングを活用した。2017年度からの新選択科目授業にもこの手法は生かされており、担当講師の中から、コーチングを授業に生かしたいという希望が出てきている。総じて、現場の講師のモチベーションは高く維持されており、その数値化を来年度の課題とする。
研究活動		特になし。
・雑誌論文 著者名・論文標題・雑誌名 査読の有無・巻・発行年 ページ数 ・学会発表 発表者名・発表標題 学会名・発表年月日・場所 ・図書 著者名・出版社名・書名 発行年・総ページ		